

東北圏地域づくりコンソーシアム 団体紹介

一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアムは、多様な主体の協働による地域コミュニティの自立及び再構築のための活動支援と、支援の枠組み・基盤づくりを通じて、地域づくりにおけるガバナンスの改革と地域コミュニティの持続的発展に寄与することを目的として活動しています。

沿革

- 2008年5月13日 任意団体(東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会)として発足。
- 2008年度 地域の元気再生事業の採択を受け、「東北圏地域づくりコンソーシアム」社会実験プロジェクトを展開。
- 2009年度 地域づくりに関わる「オープン研究会」を定期的に開催(～2010年度)。
- 2010年度 東北各地の中間支援組織との連携強化を図る「キャラバン(車座集会)事業」を実施(震災により2月中止)。
- 2011年度 福島県浪江町との協働事業として分散避難した町民を支援する「浪江のころプロジェクト」を展開(～現在)。
被災地のコミュニティ再生・復興まちづくりを支援するため、関係団体と「復興まちづくり推進協議会」を結成し、各種モデル事業を展開。(法人化時に発展解消)。
- 2012年12月25日 一般社団法人格取得

組織概要 (2022年7月1日現在)

- 所在地 住所 〒984-0065
宮城県仙台市若林区土樋254 ニューメゾン土樋201
電話 022-353-7550 FAX 022-397-7230
代表メール info@tohokuconso.org
ホームページ http://tohokuconso.org/
- 会員数 13名 (個人・正会員)
職員数 3名(常勤2名、非常勤1名)
役員 代表理事 増田 聡 (東北大学大学院経済学研究科 教授)
代表理事 新川 達郎 (同志社大学人文科学研究所 嘱託研究員)
理事 橋本 大樹 (一般社団法人東北まちラボ 代表)
監事 西出 優子 (東北大学大学院経済学研究科 教授)
顧問 山田 晴義
櫻井 常矢 (高崎経済大学 教授)

主な活動内容

地域コミュニティ再生・復興まちづくり支援プロジェクト

1. 宮城県内における復興まちづくり・地域コミュニティ再生の支援

被災地の住民団体との連携・支援や、復興支援員等地域人材の育成・活動支援を通じて、住民主体の復興まちづくりや住民との自治体との協働プロセスをサポートしています。

2018～2020年度には「宮城県復興支援活動推進業務」を受託、宮城県サポートセンター支援事務所やNPO法人地星社、一般社団法人東北まちラボ等と連携し、県域での人材育成・研修プログラムを実践しました。

市町ごとの仕組みづくりにも取り組んできました。南三陸町については2021～22年度、休眠預金等活用事業(資金分配団体:一般社団法人RCF)の支援を受け、復興のプロセスの中で生まれた住民活動を、平時の地域社会でも持続可能にしていくための支援事業を、一般社団法人復興みなさん会、一般社団法人東北まちラボと連携して実施中です。



南三陸町震災復興祈念公園に植えた樹の管理作業の様子(2021/10/16)



コロナ禍でも住民交流を継続(南三陸志津川中央復興住宅)(2020/8/25)



共通研修 地域の未来について話し合う場をうまくこなせる人になる(2020/8/6)(宮城県復興支援活動推進業務)



地域支援員・関係機関職員研修(2021/12/13)(多賀城市地域支援員活動支援業務)

2. 浪江のころプロジェクト

全国各地に分散して避難生活を続ける浪江町民の声を集め、伝えていくため、全国各地の取材協力者と連携しながら、町広報紙(浪江のころ通信)に町民の声を掲載するための訪問・取材活動を2011年6月～2022年3月の間継続しました。全国132名の取材協力者の皆さんに協力いただき、466件の記事を掲載することができました。

3. 福島県からの広域避難者のコミュニティづくりの支援

福島県から宮城県内に避難されている方々が日常的に交流を深めることができるよう、誰でも気軽に参加できる内容の「ふくしま仙台サロン」やバスで外出する「移動交流会」を継続しています。

また、宮城県内で広域避難者支援に関わる諸機関(行政・社会福祉協議会)・団体向けに情報交換会や勉強会を開催したり、情報紙「いこい通信」を発行したりしています。

さらに、同様の活動を行う北海道・東北ブロックの支援団体に呼びかけ情報交換会や合同の視察会を開催、互いに学びあう関係づくりに取り組んでいます。



ふくしま仙台サロン「セタづくり交流会」(2020/7/29)



社会福祉協議会の皆さん等との勉強会「秋田の事例を学ぶ」(2020/6/24)

調査研究・情報発信プロジェクト

10年以上の長期に渡り、被災地への支援活動が継続されているのは貴重な経験であることから、復興のプロセスを振り返り、その転換点や現状の到達点・課題等を整理する活動を継続しています。

2020年度には、1つの成果として事例集「広域避難者受入支援10年の軌跡」を発行しました。



地域づくりの政策形成支援プロジェクト

ふくしま花フェスプロジェクト

福島県浜通り～阿武隈山地を対象地域として、農林水産業復興の先導役となっている花卉栽培事業者間のネットワークづくりや、BtoCへのトライアル等を、情報発信を通じて支援しました(2020年度～)。

「YURIAGE SUNS」生産・販売相互協力プロジェクト

名取市閑上地区の水産加工業者の跡継ぎ世代(若手中堅幹部)で組織された「YURIAGE SUNS」の連携支援を行いました(2019年度)。